AMA CITY

広報あま

2026
12
No.201



法蔵寺の子安延命地蔵様

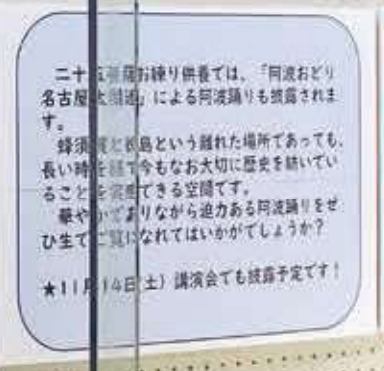
あま市中橋（蜂須賀地区の東隣）にある法蔵寺の本尊は、昔より子安延命のお地蔵様として広く信仰されています。さらに鉄造の地蔵菩薩立像（別名 鉄地蔵）でもあり、昭和46（1971）年に国の重要文化財に指定されました。

同寺の縁起によれば、正勝とこの鉄地蔵にまつわる伝説があります。もともと鉄地蔵は、ここから700メートルほど西の蓮華寺に安置されていました。楠狭間合戦の際、正勝が戦勝を祈願するために戦場へ持ち出そうとしました。しかしあまりの重さに耐えかね中橋の地に置き、代わりに手に持つ錫杖を持参したのです。のち、鉄地蔵を不憫に思った中橋の人たちが、協力してお堂を建て、お祀りしたのが現在の法蔵寺になります。この鉄地蔵の右肩背後には「一切衆生成仏得道成寛喜二年庚□八月」とあり、銘を有する鉄地蔵の中でも、寛喜2（1230）年という国内で2番目に古い年号が刻まれています。

言い伝えではありますが、正勝が戦場へ持参した錫杖はその後、蜂須賀家の家宝となり、現在は徳島市の如意輪寺に納められています。但し、この錫杖と法蔵寺鉄地蔵の関係は、詳しくは判っておらず、さらに調査が必要です。











企画展　生誕500年

蜂須賀小六正勝とあま市の戦国武将

蜂須賀小六正勝 展

12月20日(日)まで開催！

美和歴史民俗資料館にて

戦陣錫杖は12月13日(日)まで展示中！